



できない理由を探すより、できる工夫を考えていこう

校長 前田 浩二

明けましておめでとうございます。

今年、新年早々に立神正月相撲大会を参観し、子どもたちの元氣な取組にパワーをいただきました。中学生も昨年より増え、8人が参加してくれました。午後は成人式と重なったため、中学生の相撲を観ることができなくて残念でしたが、正々堂々とした迫力のある取組だったと、参観した本校職員や妻から聞きました。8人の勇氣と頑張りを讃えたいと思います。

さて、新年を迎えるにあたり、生徒の皆さんも1年の目標を立てたことでしょうか。その目標に向けてこれから努力していくことと思いますが、計画どおり進んでいくとは限りません。むしろ計画どおり進まないことの方が多いのかもしれない。そんなときに皆さんはどうしますか。

以前勤めた学校で、私は生徒たちから学んだことがあります。私が生徒会の顧問をしていたときに、生徒会の役員たちが、「体育大会の応援合戦で使う太鼓が去年壊れたので、ベルマークを集めて2張購入したい。」と、提案してきました。調べてみると、その当時、和太鼓2張で安い物でも13万円はしました。ベルマークは1点1円ですので、13万点必要です。歴代の生徒会で集めたベルマークが9万点あったのですが、あと4万点集めなければなりません。生徒たちのやる気を尊重し、取り組むことにしましたが、内心では、全校生徒50人ばかりで4万点集めることは無理だろうと思いました。1人800点集めなければならない上にベルマークの付いた商品が以前より少なくなっているのです。案の定、1か月経っても全体で1000点ぐらいしか集まりませんでした。もう生徒たちも諦めるかなと思っていると、なんと次の案を考えてきたのです。それは、協力を呼びかけるポスターを町内の様々な場所に貼り、店に回収箱を置いてもらうということでした。さらに町の広報紙にも記事を書いてもらうというのです。生徒数が少ないとかベルマークの付いている商品が少ないとか、できない理由ばかり探していた私と対照的に、生徒たちはできる工夫を考えていたのです。この2つの取組により格段にベルマークは集まるようになりました。そして、うれしいことに生徒会室の棚の奥から未整理のベルマークが大量に見つかったのです。集めた分と合わせると4万点に達することができました。生徒たちは大喜びでした。ラッキーなことがあったとはいえ、生徒たちの熱意と工夫により、成し遂げることができたのです。

この話には実は続きがあります。ある日、この学校に神奈川県から1通の手紙が届きました。

「初めまして、私は昭和39年に貴校を卒業した者です。広報紙を読み、太鼓1張分の費用を私に負担させていただきたく、ここに6万円郵送いたします。子どもたちがその太鼓で一生懸命頑張る姿を想像したとき、私も楽しくなる次第です。」

困難に突き当たったときには、できない理由を探すよりも、できる工夫を考えていこうと心に誓った出来事でした。

立神の如く

失敗・挫折から学んだこと

支援2組担任・保健体育担当 福山 成晃

幼いころから聞きなれた言葉で、「失敗は成功のもと」がある。「失敗すれば、その原因を反省し、方法や欠点を改めるので、かえってその後の成功につながるようになる。」という意味である。

これまで失敗したときに、その都度自分と向き合ってきた。何が悪かったのか、どうすれば改善できるか……。目標達成のために自己分析し、どんなときも目標を見失わず、あきらめず、最大限の努力をし続けることで、目標を達成することができた。また、それとは逆に、達成できないこともあった。しかし、どんなときも結果が出るまでのプロセスを大切に、全力を尽くすことで自分を納得させることができた。そうすることで、次の目標に向かって素直に前へ進むこともできた。

私の夢は小学校の頃から教師になることだった。その夢が次第に目標へと変わり、現在は目標を実現することができ、現在教師として教壇に立つことができている。大学卒業から教員採用試験合格まで、約10年かかったが、今振り返ってみると、この10年は決して無駄ではなかったと感じている。自分の限界まで、全力で取り組めれば、どのような結果であろうと自分が納得できることも分かった。この10年の間に、将来の不安や現状の自分に対する苛立ち等、いろんな思いが交錯し、正直心が折れそうになったこともあった。教師になることをあきらめそうになったこともあった。しかし、家族、期限付き教諭等で出会った生徒、保護者、同僚、先輩、後輩等、多くの方が応援してくれたことが自分にとって大きな支えとなり不安や迷いを断ち切ることもできた。今も深く感謝している。過去を振り返ったときに、失敗や挫折を乗り越え、その経験を積み重ねてきたことは、今では自分にとって大きな財産となっている。

中学時代は、その年齢や経験の少なさから失敗や挫折を恐れたり、恥ずかしがったりして、前進のせっかくの好機を逃してしまうことも多いかもしれない。しかし、ありのままの自分を受け入れ、失敗・挫折からも学ぶことができるように、自分の失敗体験も参考にしながら、マイナスをプラスに変えていける力を育てていくきっかけになるように子どもたちを応援したいと思っている。

全国人権作文コンテスト 感謝状受賞

人権作文コンテストへの作品の多数の応募に対し、感謝状をいただきました。これを機に、人権意識のさらなる高揚に努めていきます。



受賞おめでとうございます

○1学期 学習奨励賞・学校功労賞

〈学習奨励賞〉

- | |
|------------------------|
| 1年 池上 元 楠 竜 弥 黒 江 琉 佳 |
| 2年 内匠 莉花 四元 優希奈 永江 歩 夢 |
| 3年 茶屋 雅里紗 鮫島 友香 田中 いぶき |

〈学校功労賞〉

- | |
|-------------------------|
| 1年 下舞 竜稀亜 畑野 菜 摘 石場 きらら |
| 2年 小湊 洵哉 青野 歩 波 田畑 健 太 |
| 3年 俵 吉之介 宮 蘭 愛 鈴 竹山 美 月 |

○第62回 JA共済小・中学生書道コンクール

条幅の部 佳作 3年 井上 香菜

○南薩地区バレーボール1年生大会(12月)

優勝 女子バレーボール部

立神正月相撲 ～伝統行事への参加～



1月3日に「立神正月相撲」が行われました。立神中学校の生徒も、1年生1名、2年生6名、3年生1名の生徒が参加し、とても堂々とした取組を見せてくれました。このように郷土立神を大切に、将来にわたって持続可能な社会の創造を目指し、郷土の発展に尽くそうとする子どもたちをこれからも育てていかなければならないと思います。

いよいよ入試シーズン到来 3年生 決意の言葉

今月末からいよいよ私立高校入試がスタート。3月上旬の公立高校入試まで、3年生にとっては緊張感の続く時期になります。

始業式の3年生代表の田中いぶきさんが舞台上で述べた『3学期の抱負』には、不安や緊張感を吹き飛ばすように、「受験は団体戦。3年生全員でいい環境を作り、切磋琢磨し、一丸となってがんばります」と強い決意が込められていました。

また、15日には入試壮行会も行われました。生徒会長の2年生中原凛香さんの激励の言葉に応え、3年生を代表して永江真衣子さんが、「誰しも不安はあるもの。でも、その不安に打ち勝ち、みんなががんばっていきます」と堂々とした態度で決意を述べました。

がんばれ！ 3年生！！

【2月の主な教育活動】

- 1日(金) 立志の集い
- 7日(木) SC(午後)
- 8日(金) 3年授業参観, PTA 学校保健委員会
- 9日(土) 土曜授業
- 13日(水)~15日(金) 学年末テスト
- 19日(火) PTA理事会
- 15日(金) 青パトの日
- 20日(水) SC(午後)
- 26日(火) 1・2年授業参観, PTA
- 28日(木) 学校関係者評価委員会

